【実施区域・面積】

熊本県、846ha

【生態系タイプ】

里山林、人工林、河川

【実施区域の状況】

対象山林は球磨郡五木村県道445号線沿いにある清流日本一の川辺川に面しており、一帯流域の水源地でもあり、古来より無農薬で維持されていることや、昭和50年代初頭より頂上の小学校が廃校となる時期より林道が閉鎖されて来たこともあり、人工的開発とは無関係の手付かずの山林が残されて来た生物多様性の宝庫と言えます。

【目標】

当時経済林として植林されたスギ、ヒノキは40～50年後に伐採する予定で山林の維持を計画していた物であり、現在70年程伐採されない場合には里山で言う再生活動がされない荒れた山林と化してしまいす。これらを課題とし山林再生保全活動を計画します。

【主な活動内容】

①伐採・植林による造林活動。②林道路網整備及び生物多様性保全活動。

③沢筋の枯渇水源復活・在来生物再生活動。

④清流日本一、水源地、無農薬、森林炭素吸収源等の環境価値創出活動。

【モニタリング計画】

【第一計画期間2026年4月～2030年、5年毎更新し第四計画期間迄】
①伐採・植林ゾーン：A区分内の伐採エリア

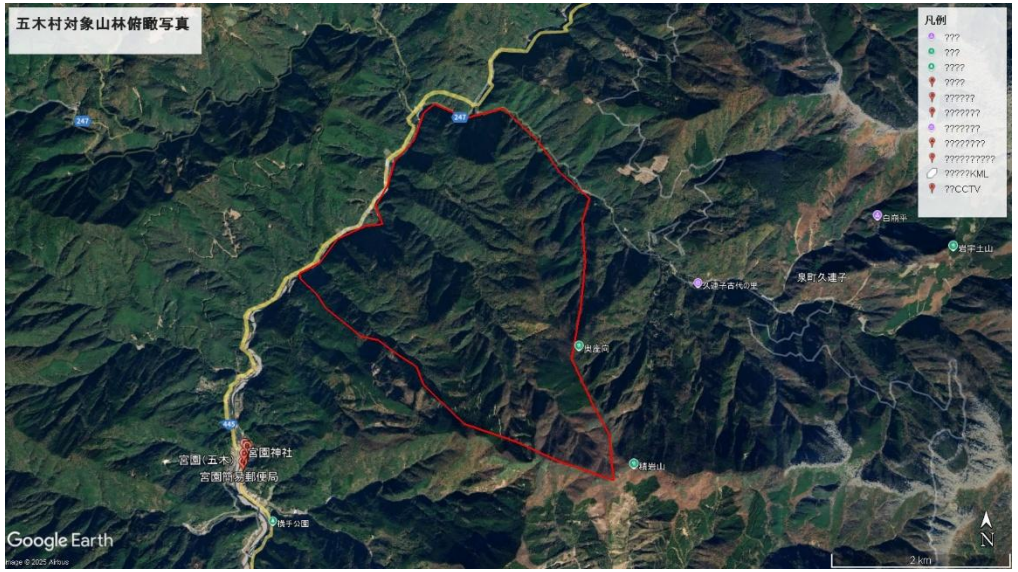
②林道沿い多様性保全ゾーン：A区分内の林道沿いエリア

③沢筋谷ゾーン：A区分中道谷ゾーン水源枯渇エリアの水源地修復整備

④ホームページ、SNS運営等による環境価値創出

【実施体制】

北浜キャピタルパートナーズ株式会社は連携会社であり申請主体である。グリーン・ロック・フォレストリーズ合同会社は対象林の、伐採・植林、林道整備及び生物多様性保全等の実施運営等の全体管理を行う会社である。



※写真/図面の赤枠内が対象山林、中央左下から左上に掛け川辺川が流れ、川に沿って県道445号線が走っている部分は、対象林の北西側に当ります。拡大して参照ください

【計画期間】

2026年３月～2031年２月